

浜の情報：上五島水産業普及指導センター  
令和元年5月24日

流れ藻が漂着

モジャコ漁や延縄漁の漁業者から「今年は、流れ藻が多い」と聞いていたところ、管内の漁港に流れ藻が大量に漂着したとの情報が入ったので、5月24日に確認しました。藻体の形状から、種類はアカモクであることが分かりました。付近の漁業者によると「2年前にはもっと沢山の漂着があった。また、例年は4月下旬に漂着することが多いが、今年は1ヶ月ほど遅い」とのことです。

今回の流れ藻は、二枚貝が付着している藻体や色が薄くなっている（黄色に近い）藻体が見られたことから、海を長時間漂った末に上五島へ漂着したと考えられます。西海水研ニュース103号及び長崎県水産試験場研究報告第42号によると、東シナ海沖の大量の流れ藻は中国の浙江省以南で発生した可能性が示唆されており、2015年に長崎県沿岸でみられた大量の流れ藻の主体が中国産型アカモクであった旨報告されていること等から、今回の流れ藻も中国から漂着したのかもしれませんが。

幸い、今のところは操業に支障が生じるほどの量でない模様です。



海岸に漂着



港内にも漂着



漂着したアカモクの気胞と冠葉



漂着場所の地図